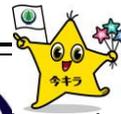


ここが大好き



【学校教育目標】
夢におかっ 今 キラリ
- なかよく・かしこく・すこやかに -
令和6年9月12日
大仙市立南外小学校

不測の事態への対応

着衣泳の体験

衣服を着たときの泳ぎにくさを体験し、そのような状態でどうやって呼吸を確保すればよいのかを学ぶために、5・6年生が着衣泳を行いました。命を守る学習であることを事前に指導し、子どもたちには水に落ちたら慌てずに「浮いて待つ」方法を教え、実際に浮く体験をさせました。さらにペットボトルを使うことで、浮き方のコツも体験することができました。



子どもたちからは、思うように泳ぐことができないつらさや、ペットボトルが思った以上に浮力を生むことなどの感想が聞かれました。このような疑似体験をすることで、水難事故に遭ったときの心構えを少しでも理解してくれればと思っています。



今季の水泳学習が終了しました。子どもたちの健康管理や水着の準備等、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

南外中生がやってきた

1年：母校訪問より

今春に本校を卒業した中学校1年生が、母校を訪問し、スキルタイムの補助をしました。すっかり中学生らしくなった1年生は、机の間を巡り、まる付けだけでなく、考え方を教えるなど主体的に関わりをもって活動していました。物怖じせず、明るく接する姿を見ていると、少しずつステップを踏んで成長している様子がよく伝わります。小学生も改めて、先輩に対して尊敬の念をもち、力強さに触れる機会となりました。



菜のはなタイム

共生社会を考える一歩に

11日(水)、6年生の総合的な学習の時間に「人にやさしい社会について考え、思いやりの心を養う」ことをねら



いとして、菜のはなタイムを行いました。社会福祉協議会や民生児童委員の方にお手伝いいただき、バリアフリーに関する学習と車椅子体験や高齢者体験、視覚不自由体験の3種類を疑似体験しました。活動を通じて、子どもたちからは、「障害者や高齢者の大変さが分かった」「実際にやってみて、とても怖い気持ちになった」という感想が聞かれました。

介助の技術や方法だけでなく、介助を受ける側がどんな気持ちになるのか、どんな声かけがあれば相手は安心できるのかといった、心のバリアフリーにおいてもたくさんの気づきが得られた時間となりました。今後、自分たちにできることやみんなが暮らしやすい社会を考えていくきっかけになることを願います。

保健室の掲示より

もしもの時の備え



9月は防災月間です。これは関東大震災が発生したことから定められたもので、自然災害に対する意識を高め、必要な備えをすることを目的としています。

先日も台風の進路に不安な気持ちを抱いたところですが、本校の保健室前廊下には、防災月間に合わせて地震への備えを呼びかける掲示がなされています。「地震が起きたらどうやって身を守る?」「防災リュックには何を入れておく?」など、子どもたちの興味を引きながら、思考を揺さぶる内容になっています。各家庭で準備した方がよい「非常持ち出し」のチェックリストも掲示されていますが、先日の保健だよりに記載されていますのでお役立てください。

キラリ★みどいっ子

☆ 第43回大曲仙北ソフトテニス大会
ジュニア男子 第2位 5年 ○○○○ さん

